

「二木立の医療経済・政策学関連ニュースレター」

2018年総目次(162～173号。全12号配信)

162号：2018年1月1日（23頁＋別ファイル(「医療時評」(155,156)の図)

1. 論文：『平成29年版厚生労働白書－社会保障と経済成長を複眼的に読む』
(「二木教授の医療時評」(155)『文化連情報』2018年1月号(478号)：14-20頁)
2. 論文：過去の『厚生(労働)白書』中の「社会保障と経済(成長)」関連の述の変遷
(「二木教授の医療時評」(156)『文化連情報』2018年1月号(478号)：20-28頁)
3. 近著『医療経済・政策学の探究』（勁草書房,2018年2月出版予定）の目次
4. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文
(通算142回.2017年分その11:6論文)
5. 私の好きな名言・警句の紹介(その157)－最近知った名言・警句

163号：2018年2月1日（13頁）

1. 論文：「モラルハザード」は倫理の欠如か？－医療経済学での用法(「深層を読む・真相を解く」(71)『日本医事新報』2018年1月13日号(4890号)：20-21頁)
2. 新著『医療経済・政策学の探究』（勁草書房,2018年2月出版予定）はしがき
3. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文
(通算143回.2017年分その12:8論文)
4. 私の好きな名言・警句の紹介(その158)－最近知った名言・警句

164号：2018年3月1日（31頁）

1. 論文：在宅での看取りの推進で医療介護費の抑制は可能か？
(「深層を読む・真相を解く」(72)『日本医事新報』2018年2月3日号(4893号)：20-21頁)
 2. 論文：日本のソーシャルワーク・社会福祉領域で常用されている概念・用語に対する私の3つの疑問と意見
(日本ソーシャルワーク教育学校連盟(ソ教連)のホームページに2018年1月28日、「特別寄稿論文(個人論文)」として掲載：http://www.jaswe.jp/doc/20180128niki_paper.pdf
「二木教授の医療時評(157)」『文化連情報』2018年3月号(480号)：10-17頁に転載)
 3. インタビュー「薬価制度改革案と費用対効果評価導入をどう読むか」
(『国際医薬品情報』2018年1月29日号(1098号)：26-29頁)
 4. 論文：地域包括ケアと医療者の役割
(『日本臨床内科医会誌』32巻4号：590-593頁,2017年12月1日)
 5. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文
(通算144回.2017年分その13:8論文)
 6. 私の好きな名言・警句の紹介(その159)－最近知った名言・警句
- 補**：「医療・福祉研究塾(二木ゼミ)」開講のお知らせ(31頁)

165号：2018年4月1日（25頁＋別ファイル）

1. 論文：私の医療経済・政策学研究の軌跡－日本福祉大学大学院最終講義より
（「二木教授の医療時評(158)」『文化連情報』2018年4月号（481号）：16-25頁）
2. 論文：安倍政権の「高齢社会対策大綱」は前政権の大綱とどう違うか？
（「深層を読む・真相を解く」(73)『日本医事新報』2018年3月3日号（4897号）：20-21頁）
3. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文
（通算145回、2018年分その1：5論文）
4. 私の好きな名言・警句の紹介（その160）－最近知った名言・警句
5. 大学院「入院」生のための論文の書き方・研究方法論等の私的推薦図書（2018年度版, ver. 20）（別ファイル：18院本推薦二木.doc）

166号：2018年5月1日（21頁）

1. 論文：国民皆保険制度の意義と財源選択を再考する
（「二木教授の医療時評(159)」『文化連情報』2018年5月号（482号）：20-25頁）
2. 論文：地域共生社会・地域包括ケアと医療との関わり
（『地域福祉研究』46号：8-14頁, 2018年3月31日）
3. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文
（通算146回、2018年分その2：6論文）
4. 私の好きな名言・警句の紹介（その161）－最近知った名言・警句

167号：2018年6月1日（23頁＋別ファイル：論文の図）

1. 論文：故植松治雄元日本医師会長が主導した2004年の混合診療全面解禁阻止の歴史的意義
（「二木教授の医療時評(160)」『文化連情報』2018年6月号（483号）：16-23頁）
2. 講演録：今後の超高齢・少子社会と医療・社会保障の財源選択－『地域包括ケアと福祉改革』序章をベースにして
（「神奈川県保険医新聞」2018年4月5日号・4月15日号）
3. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文
（通算147回、2018年分その3：7論文）
4. 私の好きな名言・警句の紹介（その162）－最近知った名言・警句

168号：2018年7月1日（21頁＋別ファイル：2論文の図表）

1. 論文：本年度診療報酬改定でのロボット支援手術の保険適用拡大の政策的・歴史的評価－「採算割れ」点数は新技術の普及を阻害しない
（「二木教授の医療時評(161)」『文化連情報』2018年7月号（484号）：18-25頁）
2. 論文：韓国・文在寅政権の医療改革案と医師会の反対－混合診療をめぐる論争を中心に（『月刊／保険診療』2018年6月号(73巻6号)：33-36頁）

3. 研究会発言：本年度診療報酬改定の医療技術技術評価でもっとも注目すべきことは「費用対効果評価の試行的導入」ではない

(2018年5月31日 日本医療政策機構・HTA連続フォーラムのプレ会合「試行的事業から見えてきた費用対効果評価導入への課題」ラウンドテーブル)

4. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文

(通算148回、2018年分その4:7論文)

5. 私の好きな名言・警句の紹介(その163)－最近知った名言・警句

169号：2018年8月1日(16頁+論文の図のPDFファイル)

1. 論文：「骨太方針2018」と「社会保障の将来見通し」の複眼的検討

(「二木教授の医療時評(162)」。『文化連情報』2018年8月号(485号)：18-23頁)

2. インタビュー：医療政策の歴史を学べば将来の事業展開も見えてくる

(『日経ヘルスケア』2018年7月号：66-70頁)

3. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文(通算

149回)(2018年分その5:7論文)

4. 私の好きな名言・警句の紹介(その164)－最近知った名言・警句

170号：2018年9月1日(20頁)

1. 論文：地域包括ケアと地域医療構想についての事実と論点－韓国保健医療研究院での報告から(「二木教授の医療時評(163)」。『文化連情報』2018年9月号(486号)：14-21頁)

2. 論文：介護人材の長期的確保策をどう考えるか？(「真相を読む・真相を解く(78)」。『日本医事新報』2018年8月4日号(4919号)：20-21頁)

3. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文(通算150回)(2018年分その6:7論文)

4. 私の好きな名言・警句の紹介(その165)－最近知った名言・警句

171号：2018年10月1日(19頁)

1. 論文：地域包括ケアに向けて医師を志す者は何を学ぶべきか？(「真相を読む・真相を解く(79)」。『日本医事新報』2018年9月1日号(4923号)：20-21頁)

2. 論文：医薬品等の費用対効果評価は「医療政策的」にはもう終わった(『月刊/保険診療』2018年9月号：40-42頁)

3. 書評りぷらい：地域包括ケアと福祉改革

(『社会福祉学』Vol.59-2(No.126)：110-111頁,2018年8月31日。結城康博氏の書評(107-109頁)に対するコメント)

4. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文(通算151回)(2018年分その7:6論文)

5. 私の好きな名言・警句の紹介(その166)－最近知った名言・警句

172号：2018年11月1日(19頁+別ファイル)

1. 論文：2018年度同時改定を医療政策の視点からどう読むか？(「真相を読む・真相を解

- く(80) 『日本医事新報』2018年10月6日号(4928号) : 24-25頁)
- 論文：医療費増加の「最大の要因」は医師数増加か？（「二木教授の医療時評(164)」『文化連情報』2018年11月号(488号) : 18-26頁。図表は別ファイル：1811『文化連情報』「医療時評」の図)
 - 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文（通算152回）（2018年分その8 : 6論文）
 - 私の好きな名言・警句の紹介（その167）－最近知った名言・警句

173号 : 2018年12月1日（25頁＋別ファイル）

- 論文：フックス教授の『医療経済・政策学』から何を学ぶか？（「深層を読む・真相を解く」(81) 『日本医事新報』2018年11月3日号(4932号) : 24-25頁。『文化連情報』2018年12月号(489号) : 20-24頁に転載（「二木教授の医療時評(165)」）。転載時、【注】と【補足】を追加）
 - 書評：権丈善一『ちょっと気になる政策思想－社会保障と関わる経済学の系譜』（勁草書房, 2018）（『日本医事新報』2018年10月16日号(4930号) : 66頁）
 - 学会報告：医療経済学の基礎知識と最近のトピックス－効果的・効率的で公平なリハビリテーションのために（2018年11月2日 第2回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会シンポジウム&ディベート1「これからの回復期リハ医学・医療：質と量の観点から」講演時配付資料）
 - 韓国語訳『日本のコミュニティケア：地域包括ケアと地域共生社会』（二木立著、丁炯先編訳、金道勲・金秀洪訳。Book-Mark、2018年11月）著者序文と丁炯先編訳者序文
 - 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文（通算153回）（2018年分その9 : 9論文）
 - 私の好きな名言・警句の紹介（その168）－最近知った名言・警句
- 補. 「ニューズレター」2018年総目次(162~173号。全12号。医療経済・政策学関連の英語論文抄訳の目次、名言・警句の人名索引付き) (別ファイル：18 二木 NL 目次.doc)

「二木立の医療経済・政策学関連ニュースレター」2018(162~173号)

最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文・目次

合計 81 論文 (累計 995 論文)

162号(2018.1.1)(通算142回.2017年分その11:6論文)

○アメリカの1996~2013年の医療費増加に関連した諸要因

Dieleman JL, et al: Factors associated with increases in US health care spending, 1996-2013. JAMA 318(17):1996-2013, 2017. [量的研究]

○[ヨーロッパでの]医療費が慢性疾患の数に与える影響

Becchetti L, et al: The impact of health expenditure on the number of chronic diseases. Health Policy 121(9):955-962, 2017. [量的研究]

○価値の乏しい医療サービス利用を減らすことを目的とした諸介入:体系的文献レビュー

Colla CH, et al: Interventions aimed at reducing use of low-value health services: a systematic review. Medical Care Research and Review 74(5):507-550, 2017 [文献レビュー]

○[アメリカにおける]避けられる救急診療部受診:出発点

Hsia RY, et al: Avoidable emergency department visits: a starting point. International Journal for Quality in Health Care 29(5):642-645, 2017. [量的研究]

○救急診療部に[病院の資源を]集中する:一文惜しみの銭失いか?オランダの病院における救急診療部の規模の経済とチェーンの経済についての実証研究

Blank JLT, et al: Concentrating emergency rooms: penny-wise and pound-foolish? An empirical research on scale economies and chain economies in emergency rooms in Dutch hospitals. Health Economics 26(11):1353-1365, 2017. [量的研究]

○ロシア革命1917-2017年[と公衆衛生]

Russian Revolution 1917-2017. American Journal of Public Health 107(11):1708-1743, 2017 [特集・評論]

163号(2018.2.1)(通算143回.2017年分その12:8論文)

○アメリカにおける[2010~2016年の]医療市場集中の趨勢:エビデンスと政策的対応

Fulton BD: Health care market concentration trends in the United States: Evidence and policy responses. Health Affairs 36(9):1530-1538, 2017 [量的研究]

○[アメリカでは]法人投資家は病院、急性期後医療、ホスピス部門での共同所有を増やしている

Fowler A, et al: Corporate investors increased common ownership in hospitals and postacute care and hospice sectors. Health Affairs 36(9):1547-1555, 2018 [量的研究]

○[アメリカの入院]患者は退院時にスキルド・ナーシングホームのケアの質についてのデータを与えられていない

Tyler DA, et al: Patients are not given quality-of-care data about skilled nursing

g facilities when discharged from hospitals. Health Affairs 36(8):1385-1391, 2017
[質的研究 (多元的事例研究法)]

○価格透明化ツールを提供しても [アメリカ・] カリフォルニア州の公務員と退職者の医療費は減らなかった

Desai S, et al: Offering a price transparency tool did not reduce overall spending among California public employees and retirees. Health Affairs 36(8):1401-1407, 2017. [量的研究]

○ [世界各国の管理医療における] 選択的契約と優先提供者への患者の誘導：スコーピングレビュー

Bes RE, et al: Selective contracting and channelling patients to preferred providers: A scoping review. Health Policy 121(5):504-514, 2017 [文献レビュー]

○高齢者入所施設では規模は問題か？施設定員と質の関係についての文献レビュー

Baldwin R, et al: Does size matter in aged care facilities? A literature review of the relationship between the number of facility beds and quality. Health Care Management Review 42(4):315-327, 2017 [文献レビュー]

○ [アメリカにおける] 営利・非営利ナーシングホームにおける財務実績、従業員のウェルビーイングと利用者のウェルビーイング [の比較]：体系的文献レビュー

Bos A, et al: financial performance, employee well-being, and client well-being in for-profit and not-for-profit nursing homes: A systematic review. Health Care Management Review 42(4):352-368, 2017 [文献レビュー]

○ [アメリカの病院における] ハイテク対ハイタッチ：入院費用構成の [病院間で] バラツキは非常に大きい

Song PH, et al: High-tech versus high-touch: Components of hospital cost vary widely. Journal of Healthcare Management 62(3):186-194, 2017 [量的研究]

164号(2018.3.1)(通算144回.2017年分その13:8論文)

○ソーシャルキャピタルの影の側面：ソーシャルキャピタルの健康への否定的影響の体系的文献レビュー

Villalonga-Olives E, Kawachi I: The dark side of social capital: A systematic review of the negative health effects of social capital. Social Science & Medicine 194:105-127, 2017 [文献レビュー]

○賢い選択キャンペーン：それを知っている [アメリカの] 医師には価値があるが、認知度は2014～2017年に上昇していない

Colla CH, et al: choosing wisely campaign: Valuable for providers who knew about it, but awareness remained constant, 2014-2017. Health Affairs 36(11):2005-2011, 2017. [量的研究]

○病院で死ぬこと：イングランドにおける社会経済的不平等の趨勢

Barratt H, et al: Dying in hospitals: socioeconomic inequality trends in England. Journal of Health Services Research & Policy 22(3):149-154, 2017. [量的研究]

○ [アメリカの] 退院後の地域ヘルスワーカーの介入がセーフティネット [医療] システム

の医療費に与える長期的影響

Galbraith AA, et al: Long-term impact on a postdischarge community health worker intervention on health care costs in a safety-net system. Health Services Research 52(6):2060-2068, 2017. [量的研究]

○ [アメリカの入院] 作業療法による入院医療費増加は再入院率減少と関連している

Rogers AT, et al: High hospital spending on occupational therapy is associated with lower readmission rates. Medical Care Research and Review 74(6):668-686, 2017 [量的研究]

○高齢者の転倒予防のための諸介入の比較：体系的文献レビューとメタアナリシス

Tricco AC, et al: Comparison of interventions for preventing falls in older adults: a systematic review and meta-analysis. JAMA 318(17):1687-1699, 2017 [文献レビュー]

○チームによるプライマリケアが医療サービスの利用と費用に与える影響：[カナダ・] ケベック州の家庭医グループ

Strumpf E, et al: The impact of team-based primary care on health care services utilization and costs: Quebec's family medicine groups. Journal of Health Economics 55:76-94, 2017. [量的研究]

○カナダでのチームによるプライマリケアはアクセス問題および [利用者の] 自己評価に基づく満たされないニーズの減少と関連しているか？

Zygmunt A, et al: Is team based primary care associated with less access problems and self-reported unmet need in Canada? International Journal of Health Services 47(4):725-751, 2017. [量的研究]

165号(2018.4.1)(通算145回.2018年分その1:5論文)

○単一支払い者 [制度] は合衆国の医療制度に対する回答か？

Fuchs VR: Is single payer the answer for the US health care system? JAMA 319(1):15-16, 2018 [評論]

○イノベーションの触媒としての [連邦] 政府：[アメリカの] メディケア・メディケイド・イノベーション・センターの [5つの] 初期モデルの教訓

Perla RJ, et al: Government as innovation catalyst: Lessons from the early Center for Medicare and Medicaid Innovation Models. Health Affairs 37(2):213-221, 2018. [評論・事例研究]

○ [アメリカの] 緩和ケア指導センターは緩和ケア・イノベーション普及の鍵である

Cassel JB, et al: Palliative Care Leadership Centers are Key to the diffusion of palliative care innovation. Health Affairs 37(2):231-239, 2017. [事例研究]

○価値に基づく支払いを促進するための経済的誘因

Scott A, et al: Financial incentives to encourage value-based health care. Medical Care Research and Review 75(1):3-32, 2018. [文献レビュー]

○ [アメリカ・カリフォルニア州における] 近隣の助け合い、信頼、安全：ソーシャルキャピタル、家計所得、および高齢者の健康の自己評価

Cain CL, et al: Helpfulness, trust, and safety of neighborhoods: Social capital, household income, and self-reported health of older adults. *The Gerontologist* 58 (1):4-14, 2018. [量的研究]

166号(2018.5.1)(通算146回.2018年分その2:6論文)

○ [オランダの] 在宅ケアの地域差を需要・供給変数で説明する

van Noort, et al: Explaining regional variation in home care use by demand and supply variables. *Health Policy* 122(2):140-146, 2018. [量的研究]

○ [アメリカの] ナーシングホームの緩和ケアチームが終末期アウトカムに与える影響—ランダム化比較試験

Temkin-Greener H, et al: Impact of nursing home palliative care teams on end-of-life outcomes - A randomized controlled trial. *Medical Care* 56(1):11-18, 2018. [混合研究法 (主として量的研究)]

○ [アメリカの] 退役軍人庁が提供する終末期ケアの質は伝統的なメディケアが支払うケアより高い

Gidwani-Marszowski, et al: Quality of end-of-life care is higher in the VA compared to care paid for by traditional Medicare. *Health Affairs* 37(1):95-103, 2018. [量的研究]

○ [アメリカの] ケア・コーディネーションを受けている認知症高齢者の医療サービス利用: 「在宅での自立最大化 [プログラム]」

Amjad H, et al: Health services utilization in older adults with dementia receiving care coordination: The MIND at Home Trial. *Health Services Research* 53(1):556-579, 2018. [量的研究]

○ 複数の疾患 [を持つ患者] に対する統合ケアの適切なモデルと要素: スコーピングレビューの結果

Struckmann V, et al: Relevant models and elements of integrated care for multi-morbidity: Results of a scoping review. *Health Policy* 122(1):23-35, 2018. [文献レビュー]

○ 患者の一般医との経験 [の良し悪し] は救急部門の利用に影響するか? オーストラリアの経験

Wong CY, et al: Does patients' experience of general practice affect the use of emergency department? Evidence from Australia. *Health Policy* 122(2):125-133, 2018. [量的研究]

167号(2018.6.1)(通算147回.2018年分その3:7論文)

○ 画期的治療 [先端医療医薬品] の資金調達: 体系的文献レビューと勧告

Hanna E, et al: Funding breakthrough therapies: A systematic review and recommendation. *Health Policy* 122(3):217-229, 2018. [文献レビュー]

○ [アメリカにおける病院の] 医療システムへの加盟 [等] が病院資源利用の密度と医療の質に与える影響

Henke RM, et al: Impact of health system affiliation on hospital resource use intensity and quality of care. *Health Services Research* 53(1):63-86, 2018. [量的研究]

○アメリカの医療市場における病院と医療保険の市場集中と入院医療の取引価格

Dauda S: Hospital and health insurance markets concentration and inpatient hospital transaction prices in the U.S. health care market. *Health Services Research* 53(2):1203-1226, 2018. [量的研究]

○がん専門医はどのくらい稼いでいるか？腫瘍科と放射線科の医師料金と支払いの高所得国間比較

Boyle S, et al: How much do cancer specialists earn? A comparison of physician fees and remuneration in oncology and radiology in high-income countries. *Health Policy* 122(2):94-101, 2018. [国際比較研究]

○[アメリカの] 一大学病院システムにおける医師の医療費請求・保険関連業務に関わる事務管理費用

Tseng P, et al: Administrative costs associated with physician billing and insurance-related activities at an academic health care system. *JAMA* 319(7):691-697, 2018. [事例研究・量的研究]

○[アメリカでの初回入院とは] 別の病院への再入院が在院日数と死亡率に与える影響

Burke RE, et al: Influence of nonindex hospital readmission on length of stay and mortality. *Medical Care* 56(1):85-90, 2018. [量的研究]

○医療・社会プログラムの資金調達方法としてのソーシャルインパクトボンド：懸念事項

Katz AS: Social impact bonds as a funding method for health and social programs: Potential areas of concern. *American Journal of Public Health* 108(2):210-215 [評論]

168号(2018.7.1)(通算148回.2018年分その4:7論文)

○終末期疾患に対する延命治療は特別なケースか？[イギリスでの] 選択と社会的観点の研究

McHugh N, et al: Are life-extending treatments for terminal illness a special case? Exploring choices and societal viewpoints. *Social Science & Medicine* 198:61-69, 2018. [量的研究]

○[アメリカの] 高齢メディケア受給者におけるアルツハイマー病と関連疾患、及び自己負担医療費とその重さ

Dwibedi N, et al: Alzheimer disease and related disorders and out-of-pocket health care spending and burden among elderly Medicare beneficiaries. *Medical Care* 56(3):240-246, 2018 [量的研究]

○所得の豊かさかと富の貧しさ？[ヨーロッパにおける] 高齢者の長期ケア利用の分布を分析する際に用いる社会経済的地位の[2つの] 尺度の影響

Rodrigues R, et al: Income-rich and wealth-poor? The impact of measures of socioeconomic status in the analysis of the distribution of long-term care use among older people. *Health Economics* 27(3):637-646, 2018 [量的研究]

○高齢化と人口変化の時代の「フェア・イニング」

Hazra NC, et al: 'Fair innings' in the face of ageing and demographic change. Health Economics, Policy and Law 13(2):209-217, 2018 [評論]

○高齢化と医療費：[スペイン・カタロニア州における]個人の健康状態の役割の探究

Carreras M, et al: Ageing and healthcare expenditures: Exploring the role of individual health status. Health Economics 27(5):865-876, 2018. [量的研究]

○[ベルギー・フランドル地方での]病院の方針決定への患者・市民の関与(PPI)：効果的な参加のための鍵概念の抽出

Malfait S, et al: Patient and public involvement in hospital policy-making: Identifying key elements for effective participation. Health Policy 122(4):380-388, 2018 [混合研究法]

○[医療における]負の投資の決定への市民の関与：医療専門職はどう考えているか？イングランドNHSでの混合研究法の結果

Daniels T, et al: Involving citizens in disinvestment decisions: what do health professionals think? Findings from a multi-method study in the English NHS. Health Economics, Policy and Law 13(2):162-188, 2018. [混合研究法]

169号(2018.8.1)(通算149回.2018年分その5:7論文)

○ヨーロッパ5か国の市場での革新的な医薬品価格契約：[支払い側の]利害関係者の態度と経験の調査

Dunlop WCN, et al: Innovative pharmaceutical pricing agreements in five European markets: A survey of stakeholder attitudes and experience. Health Policy 122(5):528-532, 2018 [質的研究]

○[イタリアでの]非処方薬の消費と費用の[地方間の]バラツキ：決定要因と政策的含意

Otto M, et al: Variations in non-prescription drug consumption and expenditure: Determinants and policy implications. Health Policy 122(6):614-620, 2018 [量的研究]

○終末期の健康の価値付け：社会科学文献における表明選好調査の文献レビュー

Shah KK, et al: Valuing health at the end of life: A review of stated preference studies in the social science literature. Social Science & Medicine 204:39-50, 2018 [文献レビュー]

○スペインNHSでの費用対効果の閾値の推計

Vallejo-Torres L, et al: Estimating a cost-effectiveness threshold for the Spanish NHS. Health Economics 27(4):746-761, 2018 [量的研究]

○共通尺度を求めて：7か国のEQ-5D-5Lのバリューセットの比較

Olsen JA, et al: In search of a common currency: A comparison of seven EQ-5D-5L value sets. Health Economics 27(1):39-49, 2018 [量的研究・国際比較]

○選択がQALYを定めるーアメリカにおけるEQ-5D-5Lの価値付け

Craig BM, et al: Choice defines QALYs - A US valuation of the EQ-5D-5L. Medical Care 56(6):529-536, 2018 [量的研究]

○EQ-5D-Yを用いた、軽度から中等度の慢性腎疾患を有する台湾の子どもの健康関連

QOLのアセスメント

HSU C-N, et al: EQ-5D-Y for the assessment of health-related quality of life among Taiwanese youth with mild to moderate chronic kidney disease. International Journal for Quality in Health Care 30(4):298-305, 2018 [量的研究]

170号(2018.9.1)(通算150回.2018年分その6:7論文)

○ [アメリカにおける] 主要疾患の2000~2014年の高い医療費増加率は技術 [進歩] と人口の変化が駆動していた

Dunn A, et al: High spending growth rates for key disease in 2000-14 were driven by technology and demographic factors. Health Affairs 37(6):915-924, 2018 [量的研究]

○ [アメリカにおける] ハイテク医療サービスと病院の財務実績との時系列分析

Zengul FD, et al: Longitudinal analysis of high-technology medical services and hospital financial performance. Health Care Management Review 43(1):2-11, 2018 [量的研究]

○ [アメリカにおける] 医療情報技術のインパクト—メディケア加入者での患者中心の医療近隣プログラムに焦点化して。患者アウトカムと費用への影響

Orzol S, et al: The impact of a health information technology - Focused patient-centered medical neighborhood program among Medicare beneficiaries in primary care practices. The effect on patient outcomes and spending. Medical Care 56(6):299-307, 2018 [量的研究]

○ 健康の決定要因についてのデータを電子医療記録に統合する

Cantor MN, et al: Integrating data on social determinants of health into electronic health records. Health Affairs 37(4):585-590, 2018 [評論]

○ [アメリカにおける自宅への] 食事配達プログラムはメディケアとメディケイドを重複受給する高齢者の費用がかかる医療利用を減らす

Berkowitz SA, et al: Meal delivery programs reduce the use of costly health care in dually eligible Medicare and Medicaid beneficiaries. Health Affairs 37(4):535-542, 2018 [量的研究]

○ 歴史は重要である：現在の医療政策と医療に対する歴史分析の決定的寄与

Sheard S: History matters: The critical contribution of historical analysis to contemporary health policy and health care. Health Care Analysis 26(2):140-154, 2018 [論説]

○ シンガポールと香港における医療保険改革：高齢化しつつあるアジアの2つの虎はいかに医療財政の課題に対応しているか

Yin JD-C, et al: Health insurance reforms in Singapore and Hong Kong: How the two ageing Asian tigers respond to health financing challenges? Health Policy 122(7):693-697, 2018 [政策研究・比較研究]

171号(2018.10.1)(通算151回)(2018年分その7:6論文)

○[アメリカにおける]血液透析を受けているメディケア加入者のホスピス利用と終末期[死亡前1年間の]費用の軌道

O'Hare AM, et al: Hospice use and end-of-life spending trajectories in Medicare beneficiaries on hemodialysis. *Health Affairs* 37(6):980-987, 2018 [量的研究]

○終末期には何が起こるか?種々の業務データをリンクしてニュージーランドでの[高齢者の]死亡前1年間の医療利用を理解する

Hamblin R, et al: What happens at the end of life? Using linked administrative health data to understand healthcare usage in the last year of life in New Zealand. *Health Policy* 122(7):783-790 [量的研究]

○[イングランドの]医療費、年齢、死亡までの期間と傷病:高齢社会への含意

Howdon D, et al: Health care expenditures, age, proximity to death and morbidity: Implications for an ageing population. *Journal of Health Economics* 57:60-74, 2018. [量的研究]

○終末期医療費:経済学的説明の[スイスの成人を対象にした末期ガン治療に対する支払い意思額についての]離散選択実験による検証

Barbara F, et al: End-of-life healthcare expenditure: Testing economic explanations using a discrete choice experiment. *Journal of Health Economics* 60:30-38, 2018.

○アメリカのメディケア加入者の2000~2015年の死亡場所、ケアの場所、医療移送[死亡直前のナーシングホームと病院間の移送]

Teno JM, et al: Site of death, place of care, and health care transitions among US Medicare beneficiaries, 2000-2015. *JAMA* 320(3):264-271, 2018 [量的研究]

○[アメリカでの]DNR[蘇生処置拒否]指示のある患者に対する救命治療実施の病院間のバラツキ

Walkey AJ, et al: Hospital variation in utilization of life-sustaining treatments among patients with Do Not Resuscitate orders. *Health Services Research* 53(3):1644-1661, 2018 [量的研究]

172号(2018.11.1)(通算152回.2018年分その8:6論文)

○[アメリカにおける]病院と医師の垂直統合:経済理論と費用と質についての実証的エビデンス

Post B, et al: Vertical integration of hospitals and physicians: Economic theory and empirical evidence on spending and quality. *Medical Care Research and Review* 75(4):399-433, 2018 [理論研究・文献レビュー]

○[アメリカでの]病院による医師診療組織の取得が価格と医療費に与える影響

Capps C, et al: The effect of hospital acquisitions of physician practices on prices and spending. *Journal of Health Economics* 59:139-152, 2018 [量的研究]

○[アメリカ・]カリフォルニア州の医療組織の統合の趨勢:ACA[通称オバマケア]が保険料と外来診療価格に与えた影響

Scheffler RM, et al: Consolidation trends in California's health care system: Impacts on ACA premiums and outpatient visit prices. *Health Affairs* 37(9):1409-1416,

2018 [量的研究]

○ **[アメリカにおける、病院組織と] 統合された保険提供者は医療保険取引所の低い保険料と関連しているか?**

Forgia AL, et al: Are integrated plan providers associated with lower premiums on the Health Insurance Marketplace? Medical Care Research and Review 75(2):232-259, 2018 [量的研究]

○ **[アメリカの] 包括払いの病院は高度ナーシングホーム利用が低下し、ケアの統合が改善したと報告している**

Zhu JM, et al: Hospitals using bundled payment report reducing skilled nursing facility use and improving care integration. Health Affairs 37(8):1282-1289, 2018 [質的研究]

○ **スイスにおける統合医療：最初の全国調査の結果**

Filliettaz SS, et al: Integrated care in Switzerland: Results from the first nationwide survey. Health Policy 122(6):568-576, 2018 [量的研究]

173号(2018.12.1)(通算153回.2018年分その9:8論文)

○ **金銭的インセンティブは新しい[健康な]習慣を身につけようとしている人びとを助けるか? [アメリカの] ジム新規加入者を対象にした実験 [ランダム化比較対照試験] に基づくエビデンス**

Carrera M, et al: Can financial incentives help people trying to establish new habits? Experimental evidence with new gym members? Journal of Health Economics 58:202-214, 2018 [量的研究]

○ **医療の質のバラツキを減らすための介入は医師と病院のどちらをターゲットにすべきか?**

Gutacker N, et al: Should interventions to reduce variation in care quality target doctors of hospitals? Health Policy 122(6):660-666, 2018 [量的研究]

○ **[アメリカの] 包括的プライマリケア事業：費用、質、患者及び医師への効果**

Peikes D, et al: The comprehensive primary care initiative: Effects on spending, quality, patients, and physicians. Health Affairs 37(6):890-899, 2018 [量的研究]

○ **[アメリカでの] かかりつけ医がいるメディケア加入者といない加入者の医療経験**

Martsolf GR, et al: Care experiences among Medicare Beneficiaries with and without a personal physician. Medical Care 56(4):329-336, 2018 [量的調査]

○ **あなたは [あなたが今受診した] 良いGPを私に勧められますか? [ヨーロッパ31か国での社会的要因での患者満足の違いの記述]**

Detollenaere J, et al: Can you recommend me a good GP? Describing social differences in patient satisfaction within 31 countries. International Journal for Quality in Health Care 30(1):9-15, 2018 [量的研究・国際比較研究]

○ **[アメリカの] 在宅医療：看護師と医師とのコミュニケーション [不全]、患者の重症度と再入院**

Pesko MF, et al: Home health care: Nurse-physician communication, patient severity

y, and hospital readmission. Health Services Research 53(2):1008-1024, 2018 [量的研究]

○ [アメリカの] 医療サービスと医療費が少ない [高パフォーマンス] 地域での医療サービス提供者と社会サービス提供者の協力パターン

Brewster AL, et al: Patterns of collaboration among health care and social services providers in communities with lower health care utilization and costs. Health Services Research 53(4):2892-2909, 2018 [質的研究]

○ リハビリテーションは脳卒中または一過性虚血発作患者の再入院と死亡リスクを減らした— [台湾の] 全人口ベースの研究

Chang K-C, et al: Rehabilitation reduced readmission and mortality risks in patients with stroke or transient ischemic attack - a population-based study. Medical Care 56(4):290-298, 2018. [量的研究]

「私の好きな名言・警句の紹介」2018年分 人名索引

注：カッコ内は「ニューズレター」の号数。各行ごとに「ニューズレター」掲載順。外国人は姓のみ（ただし例外あり。例：トム・クルーズ）。映画・テレビドラマ・芝居のセリフはその名称（「」表示）。カッコ内の(A=B)：B号で初めて紹介したもののA号での再掲。

あ行

家近良樹(162), 上野千鶴子(162, 172), 大野博人(162), 潮田道夫(162), 伊東光晴(163), 岡本重夫(163), 小俣一平(164), 奥野忠一(164), 「相棒」(164), エンゲルス(164), イチロー(165), 井上寿一(165), 今村英仁(165), 「あなたの旅立ち、綴ります」(165), 荻上チキ(166, 171), 大平正芳(166), アーサー, WB(167), 伊神満(168), アンゲルス, J(168), 井上ひさし(170), 尾木直樹(170), 海老原嗣生(171), 大竹文雄(171), 大塚初重(171), アタリ, J(172), 岩瀬仁紀(172), 大谷翔平(172), オニール, C(173)

か行

岸信介(162), 「科捜研の女」(162), ガンジー, M(164), 金子兜太(165), キャンベル, R(166), 川上武(167), 梯久美子(167), クライン, N(170), 見城徹(170), 角野英子(170), 加藤節(170), 小松美彦(171), 黒川清(171), 小池晃(172)

さ行

篠沢秀夫(162), サーロー節子(162), サンキューたつお(163), 新家義貴(163), セイラー, R(163, 164), 鈴木邦男(163), スティグリッツ, JE(164), 佐々木学(164), シラー(165), 瀬戸内寂聴(165, 168), 佐久脇(165), 鈴木敏夫(168), 神野直彦(169), 鈴木透(169), 佐藤優(169), 坂野潤治(171), 佐藤達哉(173), 関満博(173), 更科功(173)

た行

ドラッカー(163=7), 高田明典(165), 堤修三(167), 竹村彰通(168), デカルト(170), 立花隆(170), 常見信代・陽平(171), 土居丈郎(171), デュマ, A(172), 寺田寅彦(172), 塚本勝巳(173), 武田砂鉄(173), 暉峻創三(173), 鶴見俊輔(173=71), 高橋源一郎(173)

な行

丹羽宇一郎(162), 二木立(164, 169), 西部邁(164), 中島岳志(164, 166, 167), 西成活裕(165), 中村時弘(167), 中村仁一(167), ナイダ, E(168), 野口悠紀雄(169), 内藤剛志(169), 夏目漱石(172=19), 中山和弘(173), 中村好一(173), 中沢正夫(173=13)

は行

ブレイディみかこ(162, 169, 170), 羽生結弦(165), ホールステッド, LB(165, 166), 原一男(165), 帯木蓬生(ははきぎ・ほうせい。166, 173), ビナード, A(166), ペギー葉山(167), ホーキング, S(167, 172), ブロック, M(168), 浜矩子(169), 保坂正康(169), バルファキス, Y(170), フェックス, V(172), ホワイトヘッド, AN(172), 広津和郎(172), 平成天皇(172), 本庶佑(172), 本間顕(173)

ま行

村瀬厚子(162, 171), 松本零士(163), 森達夫(163), 村上大輔(163), モイニハン(164=44), 「マンハント」, マルクス(164), 森村誠一(164), 本村凌二(166), マハティール(167), 三浦知良(167), 藻谷浩介(170), 守田省吾(171), ムーア, M(173)

や行

柳川範之(162), 柳家さん喬(164), 山田邦和(165), 安田菜津紀(165), 養老孟司(166), 湯浅誠(169=59), 山口育子(170), 山田孝男(171), 与那覇潤(171), 山手茂(173)

ら行

リップシュタット, DE(162, 164), レーニン(162), ローマー, P(164, 172=164)

わ行

若月俊一(165), 若林正恭(172)